

## 平成22年9月期 第1四半期決算短信

平成22年2月9日

上場取引所 JQ

上場会社名 中央経済社

コード番号 9476 URL <http://www.chuokeyzai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本 憲央

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長

(氏名) 津原 均

TEL 03-3293-3371

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年9月期第1四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第1四半期	845	△3.7	62	△60.1	69	△57.6	37	△57.6
21年9月期第1四半期	878	—	157	—	164	—	87	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第1四半期	9.94	—
21年9月期第1四半期	22.66	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第1四半期	4,807	3,718	77.2	994.77
21年9月期	4,878	3,726	76.3	997.77

(参考) 自己資本 22年9月期第1四半期 3,711百万円 21年9月期 3,722百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	0.00	—	13.00	13.00
22年9月期	—	—	—	—	—
22年9月期 (予想)	—	0.00	—	13.00	13.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	1,784	△1.8	215	△15.0	224	△16.0	136	△8.7	32.76
連結累計期間	3,432	△1.3	347	△3.6	367	△6.4	219	△2.7	52.75

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |            |             |            |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年9月期第1四半期 | 4,398,464株 | 21年9月期      | 4,398,464株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年9月期第1四半期 | 667,577株   | 21年9月期      | 667,141株   |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年9月期第1四半期 | 3,731,214株 | 21年9月期第1四半期 | 3,861,681株 |

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の業績予想につきましては、当資料作成時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間のわが国経済は、アジア向けの輸出の回復や景気対策で一部に景気底入れ感が見られるものの、厳しい雇用情勢のなか個人消費の低迷が依然として続いており、先行きが不透明な状況にあります。

当社の属する出版業界は、依然として雑誌・書籍ともに販売金額において前年を下回る状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは厳しかった前期に引き続き、①実務に真に役立つ、②読者1人のために、という考えのもとにきめ細かな活動を積極的に行いました。一方、返品リスクを考え、また、適正在庫を維持するために、1回ごとの適正刷部数の検討を行い、これに対応する社内体制作り注力いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の連結売上高は845百万円（前年同四半期比3.7%減）、営業利益は62百万円（前年同四半期比60.1%減）、経常利益は69百万円（前年同四半期比57.6%減）、四半期純利益は37百万円（前年同四半期比57.6%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

（出版事業）

出版点数は前年並みでしたが、刷部数を抑えたこと、原価率の高い本が売れ筋であったこと、広告宣伝を積極的に行ったこと等により、当第1四半期連結会計期間の売上高は792百万円（前年同四半期比4.1%減）、営業利益は50百万円（前年同四半期比66.5%減）となりました。

（出版以外の事業）

広告請負が主な出版以外の事業は、近年続いている広告出稿量の減少により、当第1四期連結会計期間の売上高は52百万円（前年同四半期比2.6%増）、営業利益は2百万円（前年同四半期は営業損失4百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は4,807百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少45百万円等によるものです。

負債は1,089百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等及び賞与引当金の減少87百万円等によるものです。

純資産は3,718百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。これは主に、配当金支払により利益剰余金が11百万円減少したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は2,206百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は1百万円（前年同四半期比4百万円増）となりました。これは主に、法人税等の支払額62百万円等があったものの、税金等調整前四半期純利益70百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は41百万円（前年同四半期比182百万円減）となりました。これは主に、定期預金の減少額42百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は46百万円（前年同四半期比98百万円減）となりました。これは主に、配当金の支払額46百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年9月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成21年11月10日に公表いたしました「平成21年9月期 決算短信」に記載の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算出しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,418,429	2,463,966
受取手形及び売掛金	889,084	900,188
商品及び製品	569,950	532,038
仕掛品	33,251	70,974
原材料及び貯蔵品	7,133	5,842
その他	55,531	74,455
貸倒引当金	△6,613	△6,648
流動資産合計	3,966,767	4,040,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	76,770	75,308
土地	376,551	376,551
その他(純額)	9,939	10,812
有形固定資産合計	463,261	462,672
無形固定資産		
	23,507	23,507
投資その他の資産		
投資有価証券	196,934	197,089
繰延税金資産	78,221	76,686
事業保険積立金	64,877	63,357
その他	17,472	24,361
貸倒引当金	△3,487	△10,224
投資その他の資産合計	354,017	351,270
固定資産合計	840,785	837,449
資産合計	4,807,553	4,878,267

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	567,997	600,160
未払法人税等	14,946	66,638
返品調整引当金	68,524	52,600
賞与引当金	14,228	50,270
その他	219,715	181,096
流動負債合計	885,411	950,764
固定負債		
退職給付引当金	198,098	194,155
負ののれん	5,776	6,931
固定負債合計	203,874	201,086
負債合計	1,089,286	1,151,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	383,273	383,273
資本剰余金	203,710	203,710
利益剰余金	3,424,006	3,435,430
自己株式	△299,605	△299,433
株主資本合計	3,711,384	3,722,980
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	9
評価・換算差額等合計	0	9
少数株主持分	6,882	3,426
純資産合計	3,718,267	3,726,416
負債純資産合計	4,807,553	4,878,267

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	878,003	845,544
売上原価	475,223	490,102
売上総利益	402,780	355,442
返品調整引当金繰入額	16,414	15,924
差引売上総利益	386,366	339,518
販売費及び一般管理費	228,738	276,564
営業利益	157,627	62,953
営業外収益		
受取利息	3,027	1,572
受取配当金	52	39
受取地代家賃	1,872	1,805
負ののれん償却額	1,155	1,155
その他	2,237	2,226
営業外収益合計	8,345	6,799
営業外費用		
投資有価証券評価損	1,798	139
その他	0	0
営業外費用合計	1,798	139
経常利益	164,175	69,612
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,359	616
特別利益合計	1,359	616
特別損失		
有形固定資産除却損	204	—
特別損失合計	204	—
税金等調整前四半期純利益	165,331	70,228
法人税、住民税及び事業税	57,645	14,142
法人税等調整額	16,570	15,547
法人税等合計	74,216	29,689
少数株主利益	3,609	3,455
四半期純利益	87,505	37,083

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	165,331	70,228
減価償却費	2,528	1,952
負ののれん償却額	△1,155	△1,155
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,794	△6,771
賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,452	△36,042
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,252	3,943
返品調整引当金の増減額(△は減少)	16,414	15,924
投資有価証券評価損益(△は益)	1,798	139
受取利息及び受取配当金	△3,079	△1,612
売上債権の増減額(△は増加)	△19,792	11,103
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,312	△1,479
仕入債務の増減額(△は減少)	△63,376	△32,162
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,940	180
破産更生債権等の増減額(△は増加)	581	6,736
その他	11,034	33,104
小計	64,036	64,090
利息及び配当金の受取額	1,747	697
法人税等の支払額	△68,764	△62,890
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,981	1,896
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	242,600	42,600
有形固定資産の取得による支出	△37	△2,540
投資有価証券の取得による支出	△21,250	—
保険積立金の積立による支出	△1,535	△1,519
貸付けによる支出	△3,952	—
貸付金の回収による収入	8,147	3,058
その他	416	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	224,388	41,598
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△94,717	△172
配当金の支払額	△50,222	△46,259
財務活動によるキャッシュ・フロー	△144,940	△46,431
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	76,466	△2,936
現金及び現金同等物の期首残高	1,900,295	2,209,166
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,976,761	2,206,229

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	出版事業 (千円)	出版以外の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	826,488	51,514	878,003	—	878,003
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	302	27,258	27,561	△27,561	—
計	826,791	78,773	905,564	△27,561	878,003
営業利益又は営業損失(△)	150,769	△4,643	146,126	11,501	157,627

(注)1. 当社の事業区分は、事業の種類の種類性を考慮して、出版事業と出版以外の事業とに区分しております。

2. 各事業の主な製品・サービス

(1) 出版事業……………書籍・雑誌の出版及び販売

(2) 出版以外の事業……雑誌広告請負代理等、商品カタログ、販売促進用パンフレットの企画・制作、出版物の商品管理、不動産管理・賃貸業務等

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴う出版事業の損益に与える影響は軽微であり、出版以外の事業の損益に与える影響はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	出版事業 (千円)	出版以外の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	792,676	52,868	845,544	—	845,544
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	451	27,779	28,230	△28,230	—
計	793,127	80,648	873,775	△28,230	845,544
営業利益	50,550	2,203	52,754	10,199	62,953

(注)1. 当社の事業区分は、事業の種類の種類性を考慮して、出版事業と出版以外の事業とに区分しております。

2. 各事業の主な製品・サービス

(1) 出版事業……………書籍・雑誌の出版及び販売

(2) 出版以外の事業……雑誌広告請負代理等、商品カタログ、販売促進用パンフレットの企画・制作、出版物の商品管理、不動産管理・賃貸業務等

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)  
本邦以外の国又は地域に所在する支店又は連結子会社がないため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)  
本邦以外の国又は地域に所在する支店又は連結子会社がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)  
国内売上のためのため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)  
国内売上のためのため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。